

ほ ぞん し か 保存歯科部門

診療体制

初診担当医(病院講師)が診断を行い、担当医を決定します。担当医が研修医の場合は病院講師とディスカッションして治療計画を立て、治療時は病院講師とともに処置を行います。

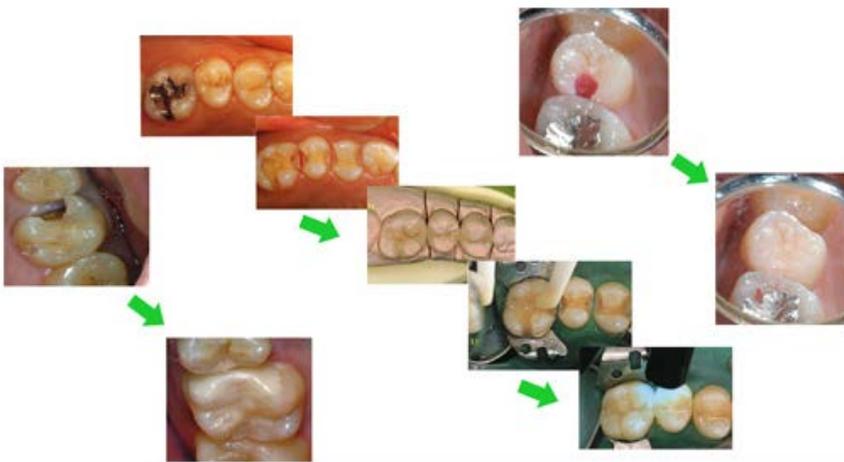
治療方針

インフォームドコンセントを徹底し、患者さんの希望に沿った治療計画を立案し、患者さんと相談した上で治療方法を決定します。必要な検査及び処置を行い、治療を行います。

得意分野

- ◎う蝕処置:メタルフリーの修復法や最小限の削除量による修復法
- ◎審美修復:変色歯や着色歯を削らずに思い通りに白くするホワイトニングやマニキュアによる治療。最小限の削除で行うセラミック修復
- ◎拡大鏡による処置:拡大鏡や手術用顕微鏡による繊細な治療
- ◎レーザーを用いた治療(メラニン色素沈着除去など)

むし歯の治療



対象疾患

- ◎う蝕 ◎歯牙破折
- ◎エナメル質(象牙質)形成不全症
- ◎変色歯 ◎着色歯
- ◎象牙質知覚過敏症 ◎歯髄炎
- ◎根尖性歯周炎 ◎歯肉炎
- ◎歯周病 ◎咬耗, 磨耗, 酸蝕症

診療内容

保存歯科は、う蝕(虫歯)やその他の歯牙硬組織疾患により欠損を生じた歯の形態及び機能的な回復を計る修復治療を行い、それによって歯髄や歯周組織の疾患を予防することを行っている診療室です。またう蝕が進行し、歯髄の感染を来した歯(激しい痛みを生じることが多いです)の根の治療(根管治療)も行っています。同時に歯科衛生教育も実施しています。う蝕は放置していても完全に治癒することはありませんので、早期発見と早期治療が必要です。甘味痛(チョコレートなどの甘い食品により起こる痛み)や冷水痛(冷たいものがしみる)や温水痛(暖かいものがしみる)があれば虫歯になっている可能性があります。また、虫歯ではないけれども冷たい水やアイスクリームがしみて痛いといった症状のある象牙質知覚過敏症に対する無痛的処置も行っています。

なお、保存歯科の診療室では歯と同様の色をした修復材料(接着性レジン)を用いた修復治療を行っています。

